

## 令和元年度第 2 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	令和 2 年 2 月 1 3 日 (木) 1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 3 0			
審 議 場 所	知立市役所 3 階 第 1 会議室			
出 席 者	市 長	教 育 長	蔭 山 委 員	竹 内 委 員
	宇 納 委 員	太 田 委 員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 学校教育課長 企画政策課課長補佐 企画政策課担当			
議 題	(1) 2 学期制・3 学期制について (2) 給食の食器について (3) その他 (教育大綱等について)			
企画部長	定刻となりましたので、只今より令和元年度第 2 回知立市総合教育会議を開催します。 本日の議題は「2 学期制・3 学期制」及び「給食の食器」についてです。 それでは、議事の取り回し等は、知立市総合教育会議設置要綱第 4 条第 1 項において、市長が議長となり、議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくお願ひします。			
議長 (市長)	次第に沿って、議事を進めたいと思います。 議題の一つ目は、「2 学期制・3 学期制」についてです。この議題は、私が委員の皆様のお聞きしたく、挙げさせていただきました。理由は、市民の代表である議会からたびたび 2 学期制から 3 学期制に戻したらどうかという意見が出ていたからです。教育長は 2 学期制で何も支障がなく、子ども達も楽しく過ごしているため、あえて変える必要はないという答弁をされています。私も教育長を尊重してそのままがいいと考えていますが、やはり市民の代表である議会からの意見も尊重したいと考えています。そこで、この総合教育会議の中で、委員の皆様の意見を参考にさせていただきたいと考えた次第です。議会の質問者はいろいろな角度から意見をされています。たとえば、「豊橋市は以前 2 学期制だったが 3 学期制に戻している。これは 2 学期制に課題があるからではないか」という意見もありました。ぜひ委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、参考にできたらと考えております。 それでは、まず担当課より説明をお願いします。			
学校教育課長	お願いします。資料 1 をご覧ください。知立市の取組と現状についてご説明します。 まず、2 学期制導入の経緯ですが、平成 14 年度にゆとり教育で完全週 5 日制が始まりました。学力の低下等が心配され、3 学期制を 2 学期制に改める動きが広がりました。2 学期制を導入することにより、行事の精選を図り授業時間の増加につなげ、ゆとりができたことで子ども達が主体的に学習や教育活動に取り組み、生きる力を育むことがで			

きるようになると言われておりました。

それを受けて本市では、平成 15 年度から八ツ田小、16 年度には知立南中学校が 2 学期制を試行しました。有識者等を交えた研究推進委員会を発足して検討した後、平成 17 年度から全小中学校で 2 学期制を導入しました。17、18 年度の 2 年間、知立南中学校で 2 学期制の取組についての研究を行っています。

2 学期制を導入した当時、おおよそ 20 時間程度授業時間数が増加しました。

近隣の様子ですが、17 年度の当時、西三河地区では豊田、高浜、西尾、みよし市の 4 市が 2 学期制を導入しました。その後、西尾市は旧幡豆郡との合併によって、旧幡豆郡が 3 学期制だったので、3 学期制に戻りました。なお、平成 17 年度に小 1 だった子どもは、現在 21 歳になっています。当時中 1 だった子ども達は現在 27 歳になっています。また、17 年度の新規採用職員・知立市に異動してきた教員は、以来ずっと 2 学期制で指導してきています。

現状、県内では今年度 54 市町村の内、9 市町で 2 学期制が導入され、名古屋市を含めた県内公立小学校 1,390 校の内 258 校、18.6%が 2 学期制を導入しています。9 市町の内訳は、犬山市、扶桑町、津島市、豊田市、知立市、みよし市、豊橋市、蒲郡市です。豊橋市はご存知のとおり、来年度から 3 学期制に戻りますが、豊橋市は新たな 3 学期制と言っています。

次に、本市における現状ですが、2 学期制を導入して 15 年が経ちました。子ども達の中には 2 学期制が定着しており、そもそも 3 学期制を知りません。特に、児童生徒の方から学期に関する声が出てくることはありません。良い点として、前期の中に夏休み、後期の中に冬休みという長期休業が入りますので、日頃取り組めないような学習や追究がその期間にできます。3 学期制では、夏休みの前に一度評定が出されるのでそこが区切りとなります。2 学期制では、前期の中に長期休業が入るので、そこでの取組等が全て前期の評定に入ります。したがって、長いスパンで様々なことに取組むことができます。

特色ある授業や行事等の取組についてですが、先ほど申し上げましたが、ダイナミックな取組ができます。たとえば、ある理科の授業では、普段目にすることができない地層や川を実際に夏休みに現地に行って、子ども達が追究したり調べたりできています。また、大掛かりな作品を長期休業を利用して子ども達が製作することもできています。総合的な学習においても、長期休業が学期の中にあることで、様々な取組ができています。

2 学期制の成果ですが、一つ目として、長期休業前の 7 月や 12 月における成績処理、通知表の作成等の慌しさが軽減されます。3 学期制の場合、最後の 3 学期は 1、2、3 月にあたり、1 月も最初の一週間はありません。3 年生は 3 月の頭に卒業するため、大きな取組はできません。さらに、週に 1 時間しかないような音楽、美術のような科目は、3 学期制の場合、授業数がわずかになってしまいます。そのわずかな授業数を元に評価を出すというのは難しいです。ただ、そういった慌しさが 2 学期制にはありません。また、中学校では夏休みに入る前に成績処理をし、通知表を出しますが、夏休みに入る前や夏休みに入ってすぐに部活動の試合が始まります。そのため、部活動をやりつつ、成

績処理をするという煩雑さもなくなります。

二つ目として、長期休業中に子ども達に目標を持たせた学習計画を立てさせることで、長い休みを有効に活用するという指導もできます。多くの学校では夏休みに入る前に懇談会や保護者会を開いたり、7月までの子どもの取組が分かるような通知をしたりしながら、夏休みの目標を設定させるという取組をしています。その結果、子ども達も教員もゆとりを持って教育活動に取組むことができるようになりました。

また、2年に1度学校教育に関する保護者アンケートを行っております。対象は、小学校5年生と中学校2年生の保護者です。今年度は実施の年に当たり、アンケート結果は資料にお示しさせていただいたとおりです。2学期制についての満足度は、小学校では「大変満足」と「やや満足」を合わせた数字がおおよそ半数程度、中学校では40%程度という結果でした。過去に実施したアンケート結果と比較しても、数字の大きな変化はないと考えています。

2学期制の検討事項として、保護者からいただいた意見を記載しました。そして「通知表が1回減ることが心配」という保護者がおみえでした。これは先ほど申し上げたとおり、懇談会や成績が分かるものを通知することで、クリアできているのではないかと考えております。また、保護者はほとんどの方が3学期制を経験しているため、感覚的に不安だったり、違いに抵抗感を持たれるのではないかと考えています。中学校の保護者からは定期テストの回数が1回減るので、そのことについての不安があります。具体的には、「テスト範囲が広がる」、「子どもが勉強しづらい」、「うちの子どもはテスト週間しか勉強しないのに5回が4回になってしまうのが心配」という声があります。ただ、本来学習は定期テスト中のみに行うものではなく、毎日の取組や日々の小さなテストを積み重ねて評価していますので、テスト期間中のテストの回数で学力低下につながるというのはそもそも論としていかなものかと考えております。なお、近隣に問い合わせたところ、2学期制を実施している豊橋を除いた8市町の内、知立を含め7市町が定期テストは4回実施しています。特にテストの回数で保護者から意見が出ることはないとのことでした。

その他の声として、「高校は3学期制なので環境の変化に戸惑う」という声もありますが、慣れによって解決するのではと考えています。「中3の入試で、時期がずれることにより、不利になるのでは」という声に関しては、入試日程等に合わせた形で対応しているため問題はないと考えています。「知立の子ども達は成績が芳しくないのでは」という意見については、明らかに差があるということはありません。また、議員さんからも意見を受けた検討委員会の立ち上げについてですが、特に問題や課題があれば検証する必要があると考えていますが、感覚的な「慣れない」等の理由で検討委員会を立ち上げる必要があるのかどうかとは思いますが。このような見解は、教育長が12月の答弁でも答えています。実際に子ども達に各学校で毎年アンケートをとっていますが、その結果を見ると、小・中共に8～9割の子どもが毎日楽しく学校生活を送っていると答えています。保護者は子ども達を上回る数字でそのように答えてくれています。今現在、2学期制により、子ども達の生活や学習という部分で大きな問題点が見当たらないのであれば、検討委員会を立ち上げる必要はないのではないかとこの見解です。説明は以上

議長（市長）	<p>です。</p> <p>ありがとうございました。それでは委員の皆様のご意見をお聞きできたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
竹内委員	<p>私自身、小学校から高校まで全て3学期制でした。大学で初めて前期・後期という2学期制となりました。それは専門性が上がるため、長い時間をもって指導ができるということです。小学校でも長い時間をもって細切れでない授業、細切れでない指導をしていけることが、子ども達には長い目で見ていいのではないかと思います。</p> <p>2学期制から3学期制というのは、たしかに親の意向がかなり入っていると思います。保護者は2学期制を知らない方がほとんどであり、30代以降の方にはほとんど馴染みがありません。慣れるしかないと思います。他の学校ももう少し2学期制を取り入れてもらえると、賛同や馴染みが増えるのではないかと思います。知立が頑張って2学期制を続けていくことで最終的には「やってよかった」ということになるのではないかと思います。以上です。</p>
宇納委員	<p>結論から言うと、教員や教育長の意見が一番現場をよく知っているため、重要だと思います。その意見を重視してもらえたらと思います。</p> <p>ただ、気になるのはアンケート結果において、中学校では「少し不満」「大変不満」というパーセンテージが上がっています。これが60%を超えるようなら検討するべきだと思います。ただ、満足という方はそこまで変わっていないと思います。特に小学校で変わっていません。その点は問題ないかと思います。</p> <p>私は2学期制、3学期制の議論の前に大切にしてほしいこととして、2学期制を導入したことにより、教員の働き方改革を含め、ゆとり教育が子どものためという視点でなされているか、そのようなカリキュラムになっているか、授業の内容が上がっているかという点です。研究会等でそのような点のレベルアップを図る必要はあるかと思います。平成17年と19年では生徒との関わり合いや生徒との時間が増えたことが2学期制の良いところだと書いてありますが、それが現在になって効果がどの程度達成されているのか、時間等の確保を見る必要があると思います。やはりいろいろな子がありますので、学力の面ばかりが問題なのではないと思います。検討委員会ではないかもしれませんが、必要なことかと思えます。</p> <p>あと、他市の話ですが、児童生徒の話として、「学校の中での行事が多い。もっと減らしてもいいのではないか」という声があります。授業参観にしても、子ども目線ではなく、保護者の目を気にする授業参観になっていると聞きました。行事が多いことで先生が準備に時間を割かれてしまうため、むしろ日々の教育や児童生徒との関わり合いに時間をとるべきだと思います。さらに、県内には共働きの家庭が多いため、親御さんも時間を割いて授業参観に来ている訳です。その中で授業参観の内容が伴っているかを考えると、少し疑問を持つところがあると聞いています。</p> <p>また、主体性のある子どもと、「勉強をなさい」と言われてもやれない子どもがい</p>



るという現実があるかと思えます。その辺については、2学期制と趣旨が異なることか  
もしれませんが、家庭教育、学校教育の面からも気になる点です。中学校については3  
学期制でもいいのかなと思えます。以上です。

太田委員

私は、スクールカウンセラーのような立場で学校に入らせていただいてから4年弱経  
ちますが、子どもがすごく変化しているなど感じます。実際、今年度「こんなに関わる  
のが難しいと感じる子どもは初めて」と先生がおっしゃるのをよく耳にしています。私  
も問題を抱えた子どもとその保護者に関わることがほとんどですが、家庭がすごく変化  
しているので、生活困窮家庭であったり、保護者自身が精神疾患を抱えている、癌や慢  
性疾患を抱えている、自分が生きるのが精一杯で子どもにまで手が回らないという家庭  
もあります。そうした状況では、子どもも問題を抱える場合が多く、そういった子達も  
目が輝くような教育の必要性を考えると、家庭の変化に合わせて教育現場も変わって  
いかなければならないと思えます。名古屋市ではイエナプランの導入を検討していたり、  
広島県や長野県ではイエナプランを導入したり、シュタイナー教育、モンテッソーリ教  
育等いろいろありますが、子ども達がどれだけ「学ぶことが楽しい」、「学校に行くのが  
楽しい」と思えるような教育をするかという観点を考えることなしに、2学期制・3学  
期制の議論は早いと思えます。どういう教育をすれば、子ども達が自分を持って大人に  
なれるかをみんなで考えた上で、「2学期制より3学期制の方がいい」となれば、変更  
したらいいと思えます。

実は、私もこうやって学校に関わる前は何も事情を知らなかったもので、ただ単に自分  
が3学期制に慣れているということで、3学期制の方がいいのではないかと考えていま  
した。しかし、学校の中に入ると2学期制で困っている子は、中にはいるかもしれませんが、あまり見当たりません。2学期制は夏休みや冬休みといった長期の時間を試験勉  
強に充てることができます。夏休み前に範囲を教えてもらえるので、夏休み中ずっと試  
験勉強ができ、その成果を夏休み明けに出すことができます。もちろん個人差があり、  
それが合っている子もいれば、勉強するのが大変という子もいると思うので、もう少し  
困っている子はどうしたらそれが改善できるのかを考えていったらいいと思えます。一  
方、先生方は本当に想像を超える大変さで、何人もの先生から「トイレに行く時間もな  
い」と聞いています。豊橋市でも働かせていただいており、今年度から3学期制を試験  
的に導入していますが、昨年度決まったときにはすごく現場の先生方は「現場のことを  
何も分からずに、どうして勝手に変えるんだ」と怒っていました。蒲郡市でも働いて  
いますが、子ども達が2学期制で困っているということは、今のところ感じていません。

また、ADHDという特性を抱えた子は丁寧に関わるとすごく変わっていきますが、分か  
っていても関わる時間がないという先生は多くいます。先生一人でクラス中を見ないと  
いけない訳ですが、クラスに手をかけてあげれば良くなる子は5人くらいいます。しか  
し、手をかけてあげられないので、それも先生方はすごく辛く感じています。「もっと  
丁寧に関われば変わるのに」、「本当はもっと力があるのに」と思いながらも、置いて  
いかざるを得ないという現状です。そういった状況をもう少し何とかできるように、みな  
んで考えていかねばならないと思えます。以上です。

蔭山委員

いくつか思う点があります。一つ目は、2学期制が提起された背景にはゆとり教育があります。しかし、今ゆとり教育を考えているかと言うと、ゆとり教育ではなく、もう詰め込みか追い立てかという形になっています。先生も児童生徒も本当に慌しいというのが実態です。そもそもゆとり教育を目指して、そのために何が必要かを考え、その流れの中で出てきたのが2学期制だと思います。そういうことから言うと、ゆとり教育への反発が、3学期制への変更として挙がってきているのだと思います。

もう一つは日本人の特徴として、新しいものへの抵抗が高いです。この議論も日本人的な感覚論の論議になってしまっています。感覚というのは十人十色です。日本人の封建的、保守的な「古い制度がいいんだ」「自分もその古い制度だった。だからそれがいいんだ」と判断しています。そういった感覚があるということは分かりますが、それで施策を決めるべきではないと思います。そこで、どうすべきかと言うと、科学的根拠に基づいて政策を選択していくべきではないかと思います。そのためには、2学期制の良い点、悪い点をデータにより明らかにすることが必要です。「3学期制がいい」というのなら、メリット、デメリットを科学的な根拠を基に明らかにすべきだと思います。3学期制は資料に書いてあるとおり、「忙しい」、「中途半端になってしまう」といったデメリットが大きいと思います。一方、2学期制はそれが逆でないというような、それぞれのデータをきちんと出して選択することが必要だと思います。感覚論では水掛論になってしまいます。水掛論で政策を決めていくことは、現代社会ではおかしいことだと思います。中学生の保護者が心配という声が多いのは、高校の進学問題を考えているからだだと思います。ただ、先ほどの学校教育課長の話であった何も問題がないことを誰も知っていません。そういう意味から、知立市は実証的・科学的なデータに基づいて選択するというのを、この際示した方がいいのではないかと思います。その意味で、検討委員会を作る必要があるのであれば、私は考える余地はあると思います。

余談にはなりますが、私は大学でずっと教鞭をとってきました。大学は2学期制です。なぜ2学期制なのかと考えたら、1学期で1科目まとまっています。次の2学期目は違う科目が始まります。しかし、義務教育は前後期で変わりません。2学期制で20時間授業数が増えたとありますが、子ども、教師にとって教科教育の充実につながったというデータが何も出ていません。感覚論では賛否両論になるのは当たり前です。そういうことから言うと、学校では教科教育が全てではありませんが、中核ではあるので、2学期制・3学期制にそれぞれどんなメリット、デメリットがあるのかということ、知立の先生方にしっかりお聞きしたいと思います。また、3学期制はどうなのかということ、他市からしっかり聞いておくべきだと思います。

その意味で学校教育課長にお聞きしたいのですが、2学期制を実施してすぐに研究をしています。そこでは、2学期制のメリット・デメリットはどう明らかにされてきたか。

学校教育課長

平成19年3月に発行されたリーフレットは、主に南中の研究結果をまとめたものです。きめ細やかな指導ができていて、特色ある学校づくりができるようになった、長期

	<p>休業がうまく活用できるようになった点等が読みとれると思います。先ほど蔭山委員が言われたデータに適っているかは分かりませんが、各種数値も明記しています。</p>
蔭山委員	<p>つまり、出発した2年間の結果として、2学期制で心配いらぬということですね。そして、それが学校教育課長の判断だとそれが続いており、何も変える必要がないというのが最終的な意見なのだと思います。ただ、少し弱いのはあくまで課長の感覚であり、市民に分かってもらうには感覚論を脱してデータを示すのがいいと思います。</p>
学校教育課長	<p>そうですね。ただ、現在2学期制と3学期制を同時に実施していないので、比較ができない状況です。平成15年度の八ツ田小、16年の知立南中は比較ができていました。</p>
太田委員	<p>先生方に時間ができた分を子ども達に返すということが大切だと思います。なるべく時間をかけて関わってくださっている先生方が、3学期制になったことでその時間がなくなり、その負担が子ども達にいつてしまうのは一番問題に感じます。</p> <p>どれくらい仕事量が変わったかを示すことは難しいでしょうか。こないだ私が関わっている小学校の先生にお聞きしたら、今年度残業時間は80時間だが、来年度は45時間になるので、それでも3学期制になったらとてもやっていけないと言われていました。</p>
学校教育課長	<p>通知表が3回から2回、定期テストが5回から4回というのは、教員としては2学期制の方がかなり時間が生まれると思っています。</p>
太田委員	<p>私が以前は何も知らなかったように、多くの保護者が学校の現状を知らないと思います。先生方が一生懸命にやってそれでもなかなか子ども達に返せず苦しんでいるという現状をご存知ない方が多いのだと思います。</p>
蔭山委員	<p>どうしてその認識不足が起こっているのかが不思議です。授業参観もしっかりやっているのにずれてしまっている。そこをどう埋めるのかを考えないといけないと思います。授業参観を増やしたからといって理解が深まるかは怪しいです。</p>
宇納委員	<p>よろしいでしょうか。議員さんから質問がありこの議題が挙がっていると思います。議員さんは各学区で回っていると思いますが、教員の多忙化については本当に分かっているのか、どんな風に指導しているのか分かっているのか気になります。教育委員会にも傍聴人としていらっしゃっていません。そういうことを含めて、議員さんにも理解を深めていただく必要があると思います。</p> <p>その点について、市長はどうお考えでしょうか。</p>
議長（市長）	<p>はい。まず整理をさせていただけたらと思います。2学期制・3学期制という議題ですが、太田委員がおっしゃられたように、本質的には先生が大変で多忙化しているとい</p>

	<p>うことをしっかりと伝えていくことで議員も納得すると思います。朝部活の廃止時も議会の方から「子ども達のがっかりする」という意見が出ましたが、私は先生方の時間が空くことにより、子ども達に笑顔を向けられる、それが子ども達のためになるとしっかりと伝えることで納得してもらえるように努めました。</p> <p>2学期制を採用した本質をしっかりと伝えていかないと、議論が曖昧になってしまいます。蔭山委員は2学期制を導入した際も教育委員を務められていたと思いますが、導入時にはどういった議論がありましたか。</p>
蔭山委員	<p>子どもにいかに勉強だけでなく、自由で主体的に学ぶ時間、自分でテーマを選んで取り組む時間を保証するかと考えたとき、3学期制では保証のしようがありませんでした。そこで、2学期制だと20時間各学校で創出でき、自由に使えるため、各学校で独自の取組ができるということがありました。知立は3学期制のままでは行き詰っている状況でした。ゆとりが大切という価値観が共有されている時期だったので、詰め込みが大事だと意見する方はいらっしゃいませんでした。</p>
議長（市長）	<p>先ほど客観的な数字が大切とおっしゃられました。その経緯からすると、当時は出ていましたか。</p>
蔭山委員	<p>当時は出ていません。ただ、変える際に新しい2学期制ではどのようなプランが可能であり、それが是か非かという判断での選択でした。今提起したように、2学期制・3学期制のそれぞれのメリット・デメリットを精査し、自由に選択するという雰囲気ではありませんでした。国からのトップダウンでゆとり教育を導入すべきという時代の流れがありました。よく文科省の方針が変わることで、現場は大変振り回されますが、この問題もその一つだと捉えています。</p>
議長（市長）	<p>先ほど客観的なデータで選択した方がいいとのご意見がありました。その場として検討委員会が考えられるかと思います。議会の方からも検討委員会の立ち上げを求める声があります。その点について、教育長いかがでしょうか。</p>
教育長	<p>まず、検討すること自体が難しいと思います。客観的な測定はできないと思うので、それを検討するよりも実際に子どもが楽しくなるような教育活動を検討すべきだと思います。学期制は1年のスパンを2つにするか、3つにするかの違いです。たとえば、3学期制でも時間数にゆとりを持つのなら、終業式に一日の授業をすればいいだけです。一番大切なことは、区切り方を考えるのではなく、実際の具体的な教育活動について客観的にどういう点が良くて、どの点が悪いのかを分析していくことだと思います。2学期制がいいか3学期制がいいかは、結論の出ない議論です。したがって、検討は必要ないと考えています。</p>
蔭山委員	<p>私が検討委員会を立ち上げた方がいいと言った理由は、どのようなデータでもって検</p>



	<p>討するか考える場を設けるという意味合いでした。</p>
教育長	<p>しかし、客観的な測定は難しいと思います。もう一点ですが、学習指導要領が変わるこの時期に行うのは、適切ではないと考えます。プログラミング教育、GIGA スクールという新しい取組に対応する中で、先生方がさらに混乱することをあえて教育委員会として進めることはいかがかなと思います。</p>
議長（市長）	<p>そうですね。太田委員がおっしゃったように、どういう教育をしていくかということ議論した上で、2学期制がいいか3学期制がいいかを議論していく必要があると思います。2学期か3学期かを決めることが先ではなく、教育内容を決めることが先にあると思います。それを議会の中で伝えていかねばいけないと思います。</p>
教育長	<p>それが説明してもなかなか伝わらない現状です。</p>
議長（市長）	<p>分かりました。ただ、委員の中からも検討委員会をとという意見が出るということは、市民感覚からも必要という意識があるのではないかと思います。そういった要望が出たときには、GIGA スクール等があるという状況を説明しながら、太田委員がおっしゃったように「本当に3学期制が適しているなら、そうしていきます」というような答弁をすると納得してもらえるのかと思います。</p>
蔭山委員	<p>ただ、我々は教育長より甘いのかもかもしれません。もっといろいろなことを分かった上で、やっても意味がないとおっしゃっているのだと受け取っています。</p>
教育長	<p>学校の体制がすでにできている中で、熱中症対策もしている体育大会、運動会といった学校行事を全て変えるとなると、数年はかかります。それだけの労力をかけて変えるより、教育活動にはやるべきことがあると思います。先生達の働き方を考えると、3学期制に変えるということはこちらからは言いづらいです。</p>
議長（市長）	<p>私もそう思います。今回いろんなアイデアをいただけたので、多くの市民の皆様に分かっていただけるように説明をするのがよいと思います。</p>
蔭山委員	<p>感覚論で申し訳ありませんが、通知表が2回で済むというのは働き方改革の上でかなり福音だと思います。これが3回だとかなり大変だと思います。私は書いたことがあります。所見を書かなければいけません。これを3回に戻すのは働き方改革からして逆行していると思います。2学期制で成果を挙げていくにはどうすればいいかを考えていくことが必要だと思います。</p>
教育長	<p>そうですね。所見はまた欄が増えます。</p>

議長（市長）	<p>整理をさせていただくと、一つ大切な点として、子ども達の満足度があります。80%が満足しているなら特に変える必要がないというのは一つの根拠だと思います。ただ、一つ気になるのは、蔭山委員が検討委員会を立ち上げて客観的な数字を取り上げてやった方がいいとお話されたことです。どのような客観的な数字で確認すればいいのか、学校教育に委ねてしまうのではなく、もし分ければ私達の方で市民感覚としてこういったデータが分かりやすいのではないかと検討が必要なのではないかと思います。</p>
蔭山委員	<p>私は心理学が専門ですので、感覚的なものを量的に測って実証するという訓練を受けてきました。不可能ではないと思っています。ただ、どういう視点でどういう指標を使ったらよいかを検討することはとても重要です。これは、教育委員会だけでなく、測定の専門家も入って検討することが必要かと思います。おそらく現場の先生方だけとなると、なかなか良い知恵は出てこないと思ったので、検討委員会をと言った次第です。</p>
議長（市長）	<p>検討委員会ではなかなかいいアイデアが出てくるかもしれません。私は一番頼りにしているのは総合教育会議ですので、どういう調査がいいのか分ければいいのですがはっきりとしたものを出すことが難しい状況です。</p> <p>太田意見は保護者の立場から、こういった指標があれば納得できるというものがありますか。</p>
太田委員	<p>不安を取り除くためには、テストの回数が2学期制だと4回、3学期制だと5回という違いがありますので、そこで子ども達の勉強時間や伸び率に差があるかどうか分ければいいと思います。差はなく、2学期制で問題ないと示すことができれば、保護者の不安材料は減ると思います。</p>
教育長	<p>しかし、現状定期テスト以外でも単元テスト等様々あるので、保護者の方々は順位が出る定期テストを気にしすぎなのではないかと思います。</p>
蔭山委員	<p>今の太田委員の意見ですが、最終的に高校入試に不利にはならないというデータを出せればいいのだと思います。そのために、3学期制から2学期制に切り替わる学校があれば、前後を測定して大差がないと示せばいいかと思います。</p>
教育長	<p>それは難しいと思います。学年によってもすごく差があります。</p>
太田委員	<p>家庭力が落ちていて、子どもが家庭で勉強する雰囲気、親や兄弟が教えるという雰囲気がなくなっていると思います。その中で「学校のテストがあれば、勉強をするのではないか」と考える保護者もいるのだと思います。それが5回と4回では1回差があるので、「テストが多い方が勉強してくれるのではないか」という期待があるのだと思います。ただ、勉強するかどうかは本人次第ではないかと思います。</p>

議長（市長）	<p>いろいろなご意見ありがとうございます。ただ、果たして高校の合格率を指標にするのがいいのかという思いはあります。いろんな価値観があり、別に勉強が優れなくても運動を頑張っている、芸術を頑張っているという子もおり、人それぞれだと思います。したがって、高校の合格率という指標を持って2学期制・3学期制を選択するというのは違うかなと思います。</p>
太田委員	<p>私もそう思います。勉強だけを考えて2学期制・3学期制を考える保護者は多いと思いますが、一番は、子どもが自分らしくのびのびと成長していくのに学校教育がどうあるべきかを考えていくことが大切だと思います。</p>
議長（市長）	<p>私もそう思います。それが客観的な指標で出てくると一番いいですね。難しいですね。</p>
太田委員	<p>知立市は蔭山先生のおかげだと思いますが、不登校の子に対するケアやいじめに対するケアが他の市に比べても優れていると感じます。他の市ではやっていただけないようなことも知立市の学校ではやっていただけます。そういったことがもっと保護者に伝わればいいなと思います。</p>
竹内委員	<p>そうですね。ただ、そういったケアをしても、当事者である保護者については「よくやってもらえた」と思いますが、知立市の全体から考えるとわずかな層になります。したがって、この学校は何人合格した等、限られた一面しか見ずに批評するので、先生はどうしていいか分からなくなってしまいます。</p>
議長（市長）	<p>いずれにしても2学期制で問題はないということは議論を通じ分かってきたと思います。特にICT教育等、やらなくてはいけない課題がある中で、あえて今の時期に2学期制から3学期制に変える必要はなく、むしろその時間があるなら先生方は教育内容の充実に専念してくださいというのが教育委員会の一つの結論かと思います。</p>
蔭山委員	<p>逆に言うと、3学期制のきちんとした証拠を示した上で変更について考えるべきだと思います。それが無い内は現状維持でいいと思います。</p>
議長（市長）	<p>分かりました。その客観的な指標が総合教育会議で話してもなかなか見つからないので、議員さん教えてくださいというお話しようかと思います。</p> <p>では、続きまして、給食の食器について担当課よりお願いいたします。</p>
企画政策課長	<p>よろしく申し上げます。市は、公共施設の更新や社会保障費の増加等により予算規模が増加する中、なかなか新規事業を実施することができません。そこで、昨年度より新規事業を実施するために、全ての既存事業を見直すべく、事務事業を点検しています。</p> <p>昨年度の点検の一つに「学校給食の食器のありかた」を挙げさせていただきました。理由としては、平成21年度強化磁器食器へ変更して依頼、毎年食器の破損等により補</p>

充するための費用が 130 万円から 150 万円程度かかっていることや、また破損の危険性・安全面からも再検討可能かどうかを教育庶務課さんをお願いして、1年間かけ、検討していただきました。当初、すべてプラスチック製品に買い替えたとしても、その後の運搬にかかる費用が減る可能性があるとのことでした。そこで、校長以下教員へのアンケート調査を実施した結果、小学校低学年では滑って食器を落として割ってしまったり、配膳の際に重くてカゴごと落としてしまうこともあるとのこと、9割の方がプラスチック製品への変更にほぼ賛成の意見ではありました。しかしながら、費用面で詳細に検討したところ、資料2のとおり、プラスチック食器も8年程度経過する毎に入れ替えが必要なことから、食器の切替による効果額は生まれなことが明らかになりましたので、今後も現状維持とさせていただくことをここに報告させていただきます。資料2につきましては、その結果報告という形でお配りをさせていただきました。以上で説明を終えさせていただきます。

議長（市長）

今説明にあったとおり議題にあげさせていただきましたが、今後も磁器食器でいくということでご了承いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

蔭山委員

一つよろしいでしょうか。問題のある・なしを審議するとき、一面的な部分のみを見て判断をしてしまいがちです。食器の問題は、割れる、危ない、化学物質が出るといった点のみが挙がってきていますが、磁器を選んだのは、日本の食文化を学校の中にきちんと入れるということが重要だと考えたからです。安全で無味乾燥な金属器やプラスチック器で割れないからいいのではなくて、やはり日本文化として陶器や磁器に近い格好の給食をという意味で導入したと思います。したがって、今のところ変えないという方針なのでいいのですが、検討の際にお金や割れやすい等の問題だけで判断しないしてほしいと思います。割れやすいからこそ注意して配る、扱うという姿勢を育むべきで、割れないものだったら乱暴に扱っても平気な姿勢を育んではいけません。日本文化はやはり割れないように丁寧に扱うということが大事だと思います。教育は比較的合理的な理由だけが中心になってしまいがちなことを残念に思いますが、この後検討する際には多様な側面を見て判断してほしいと思います。

議長（市長）

ありがとうございます。そういった意見もあると考えたため、議題に挙げさせていただきました。食器がもし変わるような原案でしたら皆様にしかりとご意見をお聞きしたいと思います。

最後に「その他」ではありますが、教育大綱の計画期間が令和2年度までとなっており、来年度中に第2期の素案を策定する必要があります。教育大綱は、総合教育会議において、首長と教育委員会が協議・調整を尽くし、首長が策定するとされております。私としては、知立市の教育の基本方針である教育大綱の大きな変更は、現状十分いいと考えておりますので考えておりませんが、改めて教育委員の皆様のご意見をお伺いできたらと考えております。何か意見はございますか。

<p>蔭山委員</p>	<p>私は平成 28 年度教育大綱を作るときに一生懸命関わった一人です。作った当時の状況と比べ、大綱を変える必要性を感じていません。今市長が言われたようにこのままでいいのではないかと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。教育長はいかがでしょう。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育大綱を受けて、学校教育方針、重点努力事項を具体的に毎年施策に入れています。他市の教育大綱を見ていくと、教育方針まで入っているところもあります。ただ、本市としてこのままいくということであれば、これを受けて毎年学校の教育方針、重点努力事項を微調整するのみでやれるので、学校としてはやりやすいかなと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>分かりました。ぜひそれでよろしく願いいたします。 また、宇納委員から ICT 教育についてお話をいただけるとうかがっています。よろしく願います。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>前回の市長、副市長もいらっしゃった知立市第 6 次総合計画の中間改定の審議会の中で少し発言させていただきましたが、ICT 教育についての他市の状況を記載した資料をお配りいたしました。市長から後で報告していただけたらと思いますが、ここ数年で ICT 教育を加速度的に機器の導入を含め知立市もやられるとお聞きしました。その点については私も声高に訴える必要はないかと思いますが、伊那市が ICT を推進しており、長野県でも南部の過疎地の自治体で取組をしているものがありました。知立市は街の中であり、非常にバランスのとれた市ではありますが、まだまだこのような他の自治体の事例等を含め参考にして導入したり、実験することが必要なのではと思います。一度これを皆さんに見ていただき、行政の方にも共有していただけて取組を進めていただけたらという思いでお配りしました。以上です。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>ありがとうございます。文科省と経産省が一緒になり GIGA スクール構想を提唱しています。一人一台パソコンをとということで、知立市は考え方といたしまして、国の財源をいただきながら、進めていこうと考えています。今の方向性としましては、令和元年度 3 月議会の追加提案で ICT に対する環境整備を進めていく方向です。WiFi 環境を整備していきます。令和 2 年度には先生方に集まっていただき、機種やソフトをどれにするかという議論を進めていきたいと思います。闇雲に導入して、効果が出ないような教育教材を扱ってもしようがないので令和 2 年度はそのように進めていきたいと思います。令和 3 年度に小学校 5、6 と中学校 1 年生にタブレット、令和 4 年には中 2、中 3 に、令和 5 年に残りの学年に順次ということで、私と教育長とで意思統一しています。 また、先立って、東小学校にソフトバンクにご協力いただき、プログラミング教育の一環としてペッパーくんに来ていただきました。実際にこのようにプログラムをしないと、ペッパーくんがこういう風に話すということ子ども達と先生方を対象にやらせていただきました。先日は名古屋市の矢田小学校に河村名古屋市長が力を入れているから</p>



	<p>ぜひ視察にという声もあり、探究学習を見学してきました。タブレットを使った試みでした。</p> <p>いずれにしても、先進的にいくというよりも乗り遅れないようにすると考えています。気をつけなければいけないのは、ソフトの開発というのは、日進月歩ですごく早く、早く入れるより数学にしても理科にしてもみんなが研究しているので、タブレットに入る教材が本当にどんどん良くなり変わっていきます。慌てることなく、遅れることなく、教育長はじめ皆様とご相談しながら進めていけたらと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>その点について、教育長、GIGA スクールについてはいかがですか。</p>
教育長	<p>今心配されているのは情報モラルやどう使っていくかということ、体の健康面です。一方で一番大事にしたいのは、教え方の一つのツールとして活用していかなければならないということです。いろんな最新情報はタブレット等で得られますが、学び合いという横のつながりがなくなってしまうと思います。また、基礎基本となるような教育はドリル形式のマンツーマンでやった方が先生方も助かるので、子どものためになるように活用していきたいと思います。</p> <p>今年度も2回情報教育部会を立ち上げて勉強していますので、これからもいいお知恵を拝借して進めていきたいと思っています。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。それでは事務局にお返しします。</p>
企画政策課長	<p>次年度の総合教育会議は、別紙「令和2年度総合教育会議日程（案）」のとおり開催する予定です。よろしくお願いいたします。以上です。</p>
議長（市長）	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>